

ブリーフセラピーの実践家として、臨床現場における学派の意義を語る 心理士 戸田さやかが『臨床心理学 第 25 巻第 6 号 学派論： 公認心理師時代に学派を再考する』の執筆に携わりました

「子どもを願うすべての人によりよい 幸せな人生を歩める社会をつくる」をビジョンに掲げ、法人の従業員向け福利厚生や自治体の住民向け支援を行うヘルスケアサポートサービス「ファミワン」
<https://famione.com/benefit/>などを展開する株式会社ファミワン（本社：東京都渋谷区、代表取締役：石川勇介）にて、ユーザー相談やサービス設計を担当する公認心理師・臨床心理士の戸田さやかが、2025 年 11 月に金剛出版より発行された『臨床心理学 第 25 巻第 6 号 学派論：公認心理師時代に学派を再考する』の執筆に携わりました。



famione

ファミワン所属の公認心理師・
臨床心理士の 戸田さやか が
臨床心理学・学派論の書籍の
執筆に携わりました

【書籍名】

臨床心理学 第25巻第6号 学派論
公認心理師時代に学派を再考する

【執筆箇所】

第3章 なぜこの学派でなければならなかったのか？
「なぜブリーフセラピーなのか？」

戸田は第 3 章「なぜこの学派でなければならなかったのか？」内の「なぜブリーフセラピーなのか？」を執筆。自身の臨床経験をもとに、短期療法（ブリーフセラピー）の成り立ちと臨床実践における有効性、そして現代の心理臨床における学派の意味について、実践的な視点から論じています。

■『臨床心理学 第 25 巻第 6 号 学派論：公認心理師時代に学派を再考する』について

2025 年最後の『臨床心理学』は、リニューアル後第 1 号として好評を博した「教科書には書いておらず、大学院でも教えてもらえない、現場で学ぶしかないありふれた臨床テクニック集」（東畑開人・山崎孝明＝共同編集）の続篇にあたります。

本特集では、「公認心理師時代に学派を再考する」というテーマのもと、臨床心理学における“学派”の意義を多角的に検討。

精神分析・人間性心理学・認知行動療法・ユング心理学・家族療法・ブリーフセラピー・心理療法統合など、主要な臨床学派の専門家たちが、それぞれの立場から学派の魅力と現代的課題を語ります。

学派の歴史を継承しつつ、その枠を超えて実践を考える議論が展開され、心理臨床の“いま”を浮き彫りにする一冊となっています。

■書籍情報

【書名】臨床心理学 第 25 巻第 6 号 学派論: 公認心理師時代に学派を再考する

【出版社】金剛出版

【発行年月】2025 年 11 月

【定価】1,980 円(税込)

【判型・頁数】B5 判・約 160 ページ

【ISBN】9784772421508

▼書籍情報詳細はこちら

<https://www.kongoshuppan.co.jp/book/b10146589.html>

▼購入はこちら (Amazon)

<https://amzn.asia/d/133URxu>

【著者紹介】

山崎孝明氏

こども・思春期メンタルクリニック。博士(心理学・上智大学)、臨床心理士・公認心理師。日本心理臨床学会業務執行理事、日本精神分析学会編集委員、『臨床心理学』(金剛出版)編集委員。

主著 | 『精神分析の歩き方』(単著・金剛出版・2021)、『当事者と専門家』(単著・金剛出版・2024)、『精神分析的サポーターティブセラピー(POST)入門』(共著・金剛出版・2023)、『週 1 回精神分析的サイコセラピー』(共編・遠見書房・2024)、『POST(精神分析的サポーターティブセラピー)を描く』(編著・日本評論社・2025)

■執筆協力 ファミワン 戸田さやかプロフィール



公認心理師、臨床心理士、生殖心理カウンセラー、がん・生殖医療専門心理士、ブリーフセラピスト・シニア。
性や生殖補助医療の専門知識を用いながら、カップル・家族の心理支援をおこなっている。
ファミワンではカウンセリングやアドバイス業務をはじめとしたユーザー対応、サービス設計を担当。
また、企業や自治体向けのセミナーやイベントに数多く登壇している。

■戸田さやかのコメント

雑誌「臨床心理学」は 2001 年に創刊された、歴史ある専門誌です。学生の頃から幾度となくお世話になった本誌に、光栄にも寄稿の機会をいただきました。本書は、学派とは何かを再考したり、実践家たちによる学派についてのパーソナルな語りが綴られています。私は、ブリーフセラピストのひとりとして、学派への愛着や思い出を述べさせていただきました。文章から滲み出るそれぞれの学派「らしさ」を感じられる一冊だと思います。多くの方が手に取ってくだされば幸いです。

■福利厚生サービス「ファミワン」の概要

組織全体の風土づくり × 当事者の個別サポートの 2 軸でご支援

福利厚生サービス「ファミワン」は、「専門家によるセミナー/研修を通じての従業員のリテラシー向上や社内風土の醸成」、そして「オンライン健康相談による従業員個々のサポート」の両側面から、企業の健康経営や両立支援の促進、女性活躍推進を支援します。

「ファミワン」導入企業の社員/従業員は、オンライン上で時間や場所を選ばず、社外の看護師や心理士、キャリアコンサルタントなどの有資格者に多様なテーマについての相談が可能です。匿名でかつ内容を会社に知られずに相談できる環境を提供することで、心理的安全性を高めるとともに従業員満足度の向上が期待できます。さらに、早期に悩みを相談し自身の身体や心の状態に気づくことで、行動変容を促し、不調を未然に防ぐ効果も期待できます。

また、全従業員を対象に、プロフェッショナル講師陣によるセミナー/研修を提供し、会社全体のリテラシーを高めます。特に女性特有の健康課題に対しては、約 7 割の女性従業員が上司・周囲

の理解を望んでいます*1。管理職や支える側の従業員など、当事者以外へ正しい知識を提供し、理解を促すことで支援の幅の拡大に貢献します。セミナー/研修のテーマは、各社のニーズや課題感に応じてカスタマイズ*2が可能です。

2018年9月より、法人向け福利厚生プログラムの提供を開始。小田急電鉄やTBS厚生会などへの福利厚生導入に加えて、ソニー、全日本空輸株式会社(ANA)、伊藤忠労働組合などへもセミナーを提供しています。自治体への提供としても、神奈川県横須賀市をはじめ、長崎県、東京都杉並区、世田谷区、広島県三原市、群馬県邑楽町など、都道府県単位から中核都市、そして数万人規模の市区町村まで幅広く提供を行っております。

※本サービスは医療行為ではないため、診断や処方はいりません。

▶ファミワン 法人向け福利厚生サービス <https://famione.com/benefit>

▶自治体向け「妊活 LINE サポート事業」 <https://famione.com/local/>

*1 出所:働く女性のウェルネス向上委員会 HP より(東京都実施,2023-5,都内で働く女性 3500人 + 企業担当者 200人へのアンケート調査結果)

*2 不妊治療の基礎知識、卵子凍結などプレコンセプションケアの啓発、月経・PMS、更年期などの健康課題、ライフプランや人間関係、メンタルケアまで多彩なテーマに対応

専門家が妊活・不妊治療をフルサポート

全国で専門家[※]50名がサポート

不妊症看護認定看護師・臨床心理士・胚培養士・管理栄養士・
保健師・薬剤師・キャリアカウンセラー・助産師など

※2024年3月現在

famione

<会社情報>

株式会社ファミワン

所在地 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目10番8号渋谷道玄坂東急ビル2F-C
代表者 代表取締役 石川 勇介
設立日 2015年6月1日
URL <https://famione.co.jp/>

▶ファミワン 法人向け福利厚生サービス <https://famione.com/benefit>

▶自治体向け「妊活 LINE サポート事業」 <https://famione.com/local/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ファミワン 広報担当 Mail: info@famione.com TEL:080-2243-6995